

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3972400315
法人名	医療法人 一心会
事業所名	グループホーム よりあい
訪問調査日	平成21年1月27日
評価確定日	平成21年3月30日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3972400315		
法人名	医療法人 一心会		
事業所名	グループホーム よりあい		
所在地 (電話番号)	高知県吾川郡仁淀川町岩丸43番地1 (電話) 0889-20-2332		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年1月27日	評価確定日	平成21年3月30日

【情報提供票より】(平成21年1月12日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人
職員数	10人	常勤6人、非常勤4人、常勤換算4.6人	

(2) 建物概要

建物形態	併設 (単独)	新築 (改築(改装))
建物構造	鉄骨造り	
	2階建ての	階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	8,000円	その他の経費(月額)	19,000円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		900円	

(4) 利用者の概要(平成21年1月12日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名	
要介護1	3名	要介護2	2名			
要介護3	2名	要介護4	1名			
要介護5	0名	要支援2	1名			
年齢	平均	84.1歳	最低	66歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	安部病院 古味歯科
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

窓からは穏やかに流れる川のせせらぎが見え、四季折々の風情が楽しめる自然豊かな地域に立地する事業所である。町が引き取り改装した縫製工場の建物を利用して運営していることから、家賃は格安に設定している。事業所名にあるように、地域の利用者が寄りあいながら穏やかな日々を過ごすことを目指しており、職員が、利用者一人ひとりの思いや生活の仕方を理解し、共有していることが窺われる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題のうち、「評価結果の運営推進会議への報告」、「入居希望者への複数職員での面接」、「水分摂取量の把握」、「居室造りの見直し」については改善されているが、「家族会の結成」、「地域住民の協力を得た防災訓練」については改善されていない。改善計画を立て取り組んでいるが、改善されていない項目については、具体的な改善目標や取り組み過程が不透明であるので、取り組み過程の記録を残すなど、今後も継続した取り組みが望まれる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	常勤職員と管理者で話し合い自己評価に取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は保健福祉センターで開催している。事業所から、評価結果報告、入居者や職員の状況報告、行事計画や活動報告などを行い、出席者から、事業所の様子を聞いたり、行事へのアドバイスや職員の異動に対する意見等が出されるなど、双方向的な会となっている。今後、参加メンバーに利用者の生活の様子を見てもらい、身近な事業所と感じてもらうためにも、事業所で会議を開催することを検討されたい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族が集まる行事を年数回実施し、その際、家族の意見を聞く場を設けている。ただ、意見や苦情は表に出にくいこともあるので、家族だけで話し合い意見を出してもらうためにも、家族会の結成や、外部の介護相談員や第三者委員の相談員制度の導入も検討されたい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地区会に加入して地域の情報を収集し、運動会や神社の祭り等に利用者とともに参加している。地域との連携は母体の医療法人の影響もあり良好であることから、課題である地域住民の協力を得た防災訓練を実施するなど、更に連携を深めることを期待したい。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 「地域の人々とのふれ合いを大切にします。」という、地域密着型サービスとしての独自の理念がある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 毎日の申し送りや月1回の職員会で話し合い、意識づけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 一人ひとりの性格や状態を把握し、その人らしさを大切にされた支援を心がけている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 回覧板で情報を収集し、運動会や地区の神社のお祭りなど、事業所として参加できることにはできるだけ参加し、地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 非常勤職員は調理等の担当であり、常勤職員と管理者が話し合い自己評価に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 評価で見出された課題について改善計画を立て、改善に向けて取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> その他 評価で見出された課題について改善計画は立てているが、取り組みの過程が不明で、改善目標にも具体性のないものが見受けられる。	○	具体的な目標を定め、取り組みの過程も判るようにすることにより、職員全員が同じ目標に向かって取り組むことが出来るようになるので、改善することを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>運営推進会議は保健福祉センターで開催している。事業所から、評価結果報告、入居者や職員の状況報告、行事計画や活動報告などを行い、出席者から、事業所の様子を聞いたり、行事へのアドバイスや職員の異動に対する意見等が出されるなど、双方向的な会となっている。なお、参加メンバーに利用者の生活の様子を見てもらい、身近な事業所と覚えてもらうためにも、事業所で会議を開催することを検討された。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>会議で評価結果を報告し、その取り組みについても話し合っている。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>保健福祉センターとの間で、互いに相談や情報交換を行うなど交流している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>家族来訪時には声をかけ、利用者の近況を話している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>奇数月に「家族便り」、偶数月に「よりあい便り」を発行し、事業所の行事計画や利用者の暮らしの様子を写真などで伝えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p><input type="checkbox"/>金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>預金通帳を預かっているが、事業所として預り金の規程等が無く、定期的な報告確認がされていない。</p>	○	<p>通帳預かりの本人又は家族に、使途確認のために領収書と預金通帳のコピーを提示し、使途の確認をしてもらうなど、利用者等にとってより明朗となる対応が望まれる。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p><input type="checkbox"/>家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。</p> <p>事業所の行事開催時に家族から意見を聞く場を設けているが、家族同士が話し合い意見を出せるような仕組みにはなっていない。</p> <p><input type="checkbox"/>苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。</p> <p>現在のところ苦情はないということで、意見や苦情が出た場合の取り組みも特に行っていない。</p>	○	<p>苦情は表には出にくいものであるため、家族会の結成、または、家族の集まる催しがある時に家族だけで話す機会を設けるなど、家族が率直な意見を出せる仕組み作りを期待したい。また、外部からの第三者委員、介護相談員による苦情相談体制の導入や、意見等が出た場合の事業所内での取り組み体制の構築を検討されたい。</p>
	9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p>昨年7月に職員4名の異動があり、馴染みの職員が継続して支える体制にはなっていない。</p> <p><input type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>引き継ぎ期間は1日とのことで、スムーズに移行できる体制にはなっていない。</p>	○	<p>運営推進会議でも利用者への影響について指摘があったように、一度に職員が異動することによる利用者のダメージは大きいので、馴染みの職員が支える体制を確保するとともに、引き継ぎ期間も十分取り、スムーズに移行できる配慮が望まれる。</p>
5. 人材の育成と支援						
	10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>職員が希望する研修会に参加している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>研修結果は報告書を作成し回覧している。なお、職員会や申し送り等の場で報告することも検討されたい。</p>		
	11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p><input type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>同業者との交流の機会がない。</p>	○	<p>地域の同業者と交流を行うことにより、日頃のケアに対する問題点などの解決の糸口を見出せたり、日頃の仕事の悩みの解消などにも役立つので、積極的に交流することを期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>入居時に、本人、家族、ヘルパー、包括支援センター等から心身の状況や生活歴などの情報を収集し、本人や家族の意向の確認も行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>体験は行っていないが、見学にはできる限り来てもらうようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者と職員で面接を行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>昔ながらのしきたりや生活の知恵、しめ縄づくりや正月飾り、こんにやく作りや料理の仕方など、利用者から教えてもらいながら協働して生活している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>昔の楽しかった思い出を聞き、今の哀しみや不安にも耳を傾け、寄り添って利用者の思いを理解し、共感するように努めている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>花の世話が好きな人、一人であるのが好きな人、相撲や仕事の話などが好きな人等、一人ひとりの思いや暮らし方の希望を把握するように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族や関係者から話を聞き、本人の言動などからも推察するように努めている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>毎月、ほぼ全員の職員が参加し、カンファレンスやモニタリングを行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>3か月ごとに見直している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>体調や状態の変化、家族の要望などにより、変化が生じた場合にはその都度見直し、個別の期間設定を行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>同一法人の医療機関と連携し、往診を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>基本的な通院は家族が対応しているが、家族の都合が悪い時は職員が支援し、特別な外出等も希望があれば対応するようにしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>地域で暮らしていた人がほとんどであり、協力医療機関がかかりつけ医になっている。専門医への受診等は支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>受診に同伴した家族や職員が互いに報告し、情報を共有している。また、協力医療機関からの紹介で他病院に受診する時は病院間で情報を共有すると共に、事業所とも共有している。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>看取りに関する指針を定め、家族、医師、看護師を交えて話し合っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>本人や家族の意向を踏まえ、希望があれば取り組む体制が出来ている。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>ミーティングやカンファレンスの時に話し合い、法の理解と徹底に努めている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 利用者の状態を見て、買い物や散歩など希望に合わせた支援を行うように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 利用者の希望にできる限り沿うように対応している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 食材の下ごしらえ、台拭き、下膳、後片付け、食器洗いなど、利用者のできることを一緒に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 三食とも、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 入浴時間を午前と午後を設定しており、本人の希望に合わせて支援している。夜間の入浴希望があれば対応できる体制となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 入浴を拒否する人には、言葉かけの工夫、同性介助、職員交代などにより、入浴できるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 食事作り、花の水やり、野菜の栽培など、利用者の得意分野を把握しており、経験や知恵を発揮できるように支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 色々な場面で利用者言葉をかけ、参加してもらい、役割や楽しみ事へ誘導するようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 近隣にある利用者の馴染みの店や理・美容院などに出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 季節や天気などにもよるが、利用者の体力に応じた外出支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 季節毎に遠足に出かけ、少し離れたスーパーへ買い物に行くなど、外出支援を行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 現在、夜間徘徊する利用者はいるが日中にはいない。職員は利用者の傾向を把握しており、見守りながら対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 日中は近隣の人気は少ないが、前にある店の方と声かけや連絡が貰える関係を築いている。同一法人の病院も近くにあることから、協力関係はできている。		
27	71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 事業所の訓練は行っているが、地域住民の参加や協力は得られていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。	○	災害時には地域住民の協力が不可欠であるので、運営推進会議等で話し、区長や民生委員等地域の方々への参加、協力が得られるように働きかけることが望まれる。また、同一法人の病院が避難場所となっていることから、病院との合同訓練の検討も期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>一人ひとりの水分・食事摂取量をチェックしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>利用者の嗜好や状態を把握しており、きざみ食や代替え副菜などで対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>同一法人の病院の栄養士が献立を作成している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>居間兼食堂は採光が良く、ソファやテーブルを置き、ゆっくり穏やかに過ごせる場所となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。</p> <p>壁面の折り紙の装飾に「和」の雰囲気が感じられた。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>壁面に、椿の花と葉っぱをイメージした飾りを市松模様配置し、傍らに節分の鬼がいるように飾るなど、季節感にあふれた工夫を行っている。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>ベットや寝具は使っていたものを持ち込むなど、個別に工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>家族や自分の写真を飾ったり、本人の望む家具を配置するなど、その人らしい居室となるように取り組んでいる。</p>		